

2023年3月30日
株式会社アイスタット
News Release

株式会社アイスタット マンスリーレポート
- 自転車利用者のヘルメット着用に関するアンケート -
(調査期間：2023年3月16日)

改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から年齢を問わず自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されます。自転車の事故が全国で相次ぎ、利用者の安全を守るためにヘルメットが必要という理由からですが、4月からみんなが一斉にヘルメットを着用するのでしょうか。

株式会社アイスタット（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：志賀保夫）は、ヘルメットの着用意向、「着用する人」と「そうでない人」の違いを知る目的として、自転車利用者のヘルメット着用に関する調査を行いました。

業界最大規模のモニター数を誇るセルフ型アンケートツールFreeasy を運営するアイブリッジ株式会社（本社：大阪府大阪市）の会員 20 歳～ 59 歳の会員300人を対象に調査を実施しました。

調査結果サマリー



自転車を利用している人は5割！ そのうち、週に1回以上利用している人は3割！

<< 以下、自転車利用者150名の調査結果 >>



**ヘルメット着用の努力義務化で「困る」と回答した人は6割近く！
自転車の利用が「週5日以上」の人ほど多い！**



4月1日以降、常にヘルメットを着用する人は1割！



ヘルメットを常に着用しない理由の第1位は「努力義務だから」、第2位は「持っていない」



ヘルメット着用の努力義務化で、自転車利用頻度が「減る」と回答した人は3割近く！



自転車で転倒したことがある人は、「4月以降、常にヘルメットを着用する」が最多！



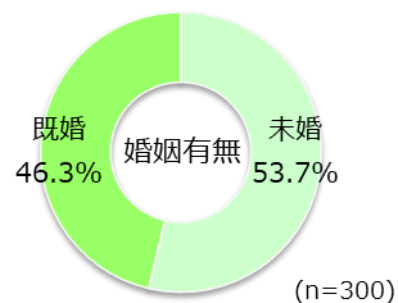
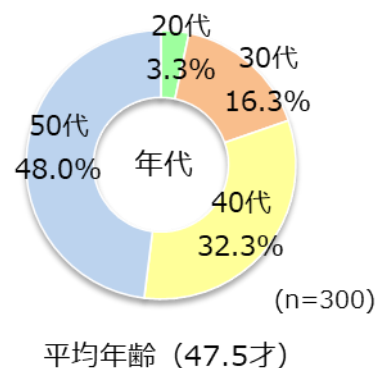
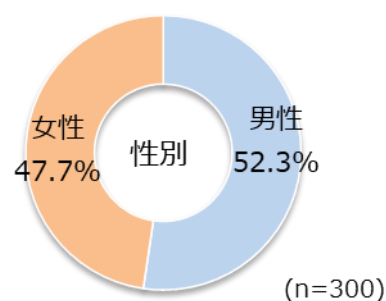
**ヘルメット着用率が上がるためには？ 第1位は「ヘルメットの補助金が必ず出る」
第2位は「強制化」、第3位は「ヘルメットの種類が増える」**

調査概要

形式	Webアンケート形式
調査期間	2023年3月16日
回答者	セルフ型アンケートツールFreeasyに登録している20歳～59歳の会員300人
調査機関	株式会社アイスタット

【回答者属性】

全体		300名	100.0%
性別	男性	157名	52.3%
	女性	143名	47.7%
年代	20代	10名	3.3%
	30代	49名	16.3%
	40代	97名	32.3%
	50代	144名	48.0%
有 婚 無 姻	未婚	161名	53.7%
	既婚	139名	46.3%
居住地	北海道・東北地方	21名	7.0%
	関東地方	129名	43.0%
	中部地方	38名	12.7%
	近畿地方	57名	19.0%
	四国・中国・九州地方・沖縄	55名	18.3%
職業	会社員(正社員)	98名	32.7%
	会社員(契約・派遣社員)	15名	5.0%
	経営者・役員	6名	2.0%
	公務員(教職員を除く)	6名	2.0%
	自営業	33名	11.0%
	自由業	8名	2.7%
	医師・医療関係者	2名	0.7%
	専業主婦	36名	12.0%
	学生	3名	1.0%
	パート・アルバイト	45名	15.0%
	無職	40名	13.3%
	その他	8名	2.7%



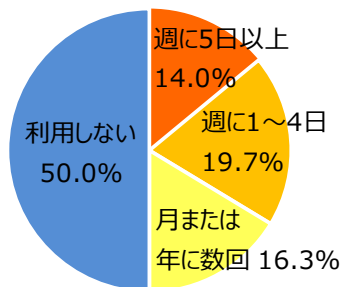
主な分析結果

自転車を利用している人は5割！ そのうち、週に1回以上利用している人は3割！

日頃の自転車利用頻度を聞いたところ、「利用しない」が50.0%で最も多く、次に「週に1～4日」の19.7%、「月または年に数回」の16.3%、「週に5日以上」の14.0%と続いた。自転車を利用する人は週に1回以上利用している人は3割であることが明らかとなった。

属性別にみると、「週に5日以上」を回答した人は「20・30代」「男性」「既婚」「パート・アルバイト」が多かった。一方、「利用していない」を回答した人は「50代」「女性」「未婚」「無職・その他」が多かった。

【図1】 あなたは、日頃、どのくらいの頻度で自転車を利用していますか。（回答は1つ）



(n = 300)

	n	%	
毎日	22	7.3	週1回以上 33.7%
週に5～6日	20	6.7	
週に3～4日	16	5.3	
週に1～2日	43	14.3	
月に数回	24	8.0	上記以外 66.3%
年に数回	25	8.3	
利用しない（乗らない）	150	50.0	
合計	300	100.0	

(横%表)

		自転車の利用頻度				n
		週に5日以上	週に1～4日	月・年に数回	利用しない	
全体		14.0	19.7	16.3	50.0	300
年代	20・30代	22.0	20.3	8.5	49.2	59
	40代	14.4	18.6	17.5	49.5	97
	50代	10.4	20.1	18.8	50.7	144
性別	男性	15.9	22.3	16.6	45.2	157
	女性	11.9	16.8	16.1	55.2	143
婚姻有無	未婚	13.7	14.3	14.3	57.8	161
	既婚	14.4	25.9	18.7	41.0	139
職業	有職者	14.9	20.8	16.7	47.6	168
	パート・アルバイト	22.2	11.1	20.0	46.7	45
	専業主婦	2.8	27.8	13.9	55.6	36
	無職・その他	11.8	17.6	13.7	56.9	51
居住地	北海道・東北地方	19.0	14.3	9.5	57.1	21 ※
	関東地方	14.0	21.7	18.6	45.7	129
	中部地方	7.9	13.2	13.2	65.8	38
	近畿地方	17.5	28.1	15.8	38.6	57
	四国・中国・九州地方・沖縄	12.7	12.7	16.4	58.2	55

各項目を縦に見て最大値に彩色

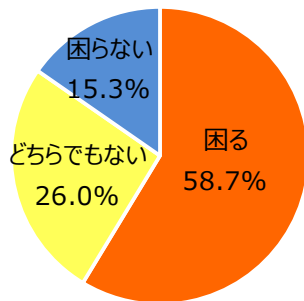
※ n=30未満は参考値

ヘルメット着用の努力義務化で「困る」と回答した人は6割近く！ 自転車の利用が「週5日以上」の人ほど多い！

自転車利用者150名に、ヘルメット着用の努力義務化についてどう思うかを聞いたところ、「困る」が58.7%で最も多く、次に「どちらでもない」の26.0%、「困らない」の15.3%と続いた。自転車の利用状況別にみると、「困る」と回答した人は「週に5日以上」の人ほど多く、「困らない」を回答した人は「月または年に数回」の人ほど多い妥当な結果であった。属性別では、「50代」「女性」「専業主婦」の人ほど「困る」の回答が最も多かった。

<自転車利用者150名が対象>

【図2】改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から、年齢を問わず自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されます。
あなたは、努力義務化について、どう思いますか。（回答は1つ）



自転車利用者 (n=150)

	n	%
非常に困る	40	26.7
やや困る	48	32.0
どちらでもない	39	26.0
あまり困らない	12	8.0
全く困らない	11	7.3
合 計	150	100.0

(横%表)

<対象> 自転車利用者 (n = 150)		ヘルメット着用の努力義務化			n
		困る	どちらでもない	困らない	
全体		58.7	26.0	15.3	150
自転車 の利用 状況	週に5日以上	64.3	26.2	9.5	42
	週に1～4日	54.2	28.8	16.9	59
	月または年に数回	59.2	22.4	18.4	49
年代	20・30代	53.3	33.3	13.3	30
	40代	57.1	26.5	16.3	49
	50代	62.0	22.5	15.5	71
性別	男性	57.0	24.4	18.6	86
	女性	60.9	28.1	10.9	64
職業	有職者	58.0	25.0	17.0	88
	パート・アルバイト	45.8	33.3	20.8	24 ※
	専業主婦	75.0	18.8	6.3	16 ※
	学生・無職・その他	63.6	27.3	9.1	22 ※

※ n=30未満は参考値

各項目を縦に見て最大値に彩色

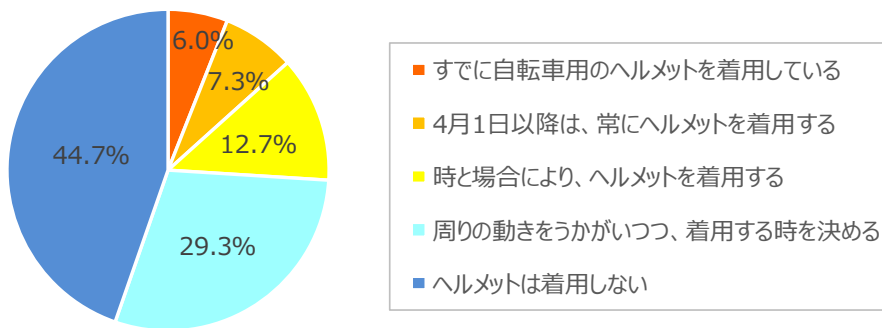
4月1日以降、常にヘルメットを着用する人は1割！

自転車利用者150名に、令和5年4月1日以降、自転車に乗る際、ヘルメットを着用するかを聞いたところ、「ヘルメットは着用しない」が44.7%で最も多く、次に「周りの動きをうかがいつつ、着用する時を決める」の29.3%、「時と場合により、ヘルメットを着用する」の12.7%の順で続いた。「4月1日以降は常に着用する」の7.3%と「すでに着用している」の6.0%を足し合わせた「ヘルメット着用を遵守」する人は13.3%で、全体の1割だった。ヘルメット着用意向の低さが浮き彫りとなった。

「ヘルメットは着用しない」を回答した人の属性をみると、自転車の利用が「月または年に数回」「50代」「男性」「専業主婦」の人ほど多い結果であった。

<自転車利用者150名が対象>

【図3】 令和5年4月1日以降、あなたが自転車に乗る際、ヘルメットを着用しますか。（回答は1つ）



(n = 150)

(横%表)

<対象> 自転車利用者 (n = 150)		令和5年4月1日以降のヘルメット着用意向					n
		すでに自転車用のヘルメットを着用している	4月1日以降は、常にヘルメットを着用する	時と場合により、ヘルメットを着用する	周りの動きをうかがいつつ、着用する時を決める	ヘルメットは着用しない	
全体		6.0	7.3	12.7	29.3	44.7	150
自転車の利用状況	週に5日以上	9.5	0.0	19.0	33.3	38.1	42
	週に1~4日	6.8	15.3	11.9	22.0	44.1	59
	月または年に数回	2.0	4.1	8.2	34.7	51.0	49
年代	20・30代	3.3	13.3	20.0	23.3	40.0	30
	40代	6.1	6.1	10.2	34.7	42.9	49
	50代	7.0	5.6	11.3	28.2	47.9	71
性別	男性	9.3	8.1	15.1	19.8	47.7	86
	女性	1.6	6.3	9.4	42.2	40.6	64
職業	有職者	9.1	9.1	15.9	22.7	43.2	88
	パート・アルバイト	0.0	4.2	4.2	41.7	50.0	24 ※
	専業主婦	0.0	6.3	0.0	37.5	56.3	16 ※
	無職・その他	4.5	4.5	18.2	36.4	36.4	22 ※

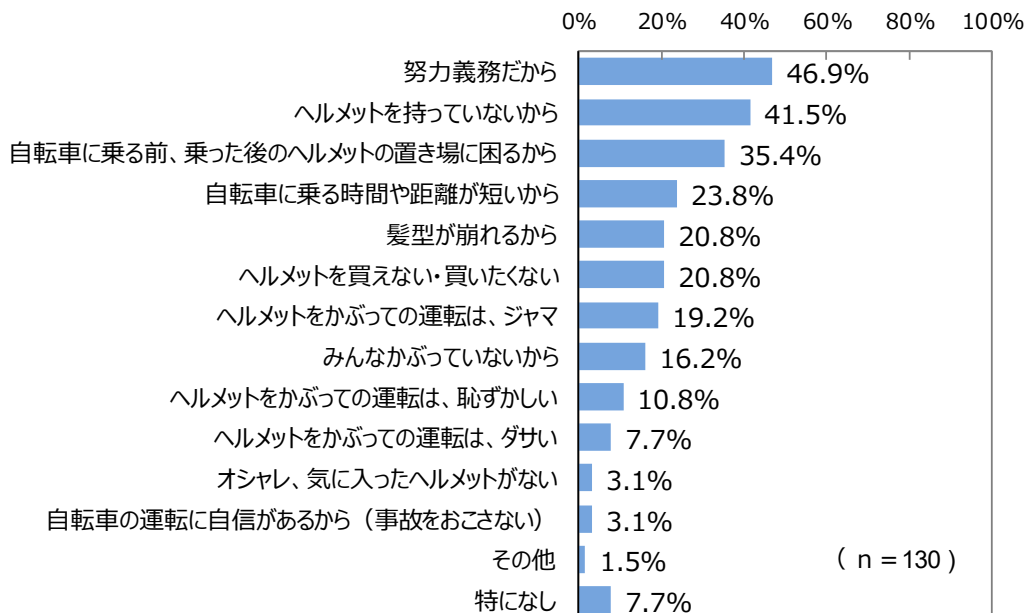
各項目を縦に見て最大値に彩色

※ n=30未満は参考値

ヘルメットを常に着用しない理由の第1位は「努力義務だから」、第2位は「持っていない」

「ヘルメットを常に着用しない」を回答した130名に、その理由を複数回答で聞いたところ、「努力義務だから」が46.9%で最も多く、次に「ヘルメットを持っていないから」の41.5%、「自転車に乗る前、乗った後のヘルメットの置き場に困るから」の35.4%と続いた。

＜ Q3で「すでに着用している」「4月1日以降は常に着用する」以外を回答した方＞
【図4】 あなたが常にヘルメットを着用しない理由をお知らせください。（回答はいくつでも）



(横%表)

<対象> 4月1日以降、ヘルメットを 常に着用しない人 (n = 130)		ヘルメットを常に着用しない理由												n		
		努力義務だから	ヘルメットを持っていないから	自転車に乗る前、乗った後のヘルメットの置き場に困るから	自転車に乗る時間や距離が短いから	髪型が崩れるから	ヘルメットを買えない・買いたくない	ヘルメットをかぶっての運転は、ジャマ	みんなかぶっていないから	ヘルメットをかぶっての運転は、恥ずかしい	ヘルメットをかぶっての運転は、ダサい	オシャレ、気に入ったヘルメットがない	自転車の運転に自信があるから（事故をおこさない）			
全体		46.9	41.5	35.4	23.8	20.8	20.8	19.2	16.2	10.8	7.7	3.1	3.1	1.5	7.7	130
自転車の利用状況	週に5日以上	39.5	39.5	34.2	23.7	28.9	21.1	13.2	23.7	10.5	5.3	2.6	5.3	0.0	10.5	38
	週に1～4日	45.7	50.0	47.8	23.9	10.9	23.9	17.4	15.2	10.9	10.9	4.3	0.0	0.0	4.3	46
	月または年に数回	54.3	34.8	23.9	23.9	23.9	17.4	26.1	10.9	10.9	6.5	2.2	4.3	4.3	8.7	46
年代	20・30代	28.0	36.0	36.0	20.0	24.0	16.0	8.0	8.0	4.0	12.0	0.0	0.0	0.0	12.0	25 ※
	40代	44.2	37.2	34.9	18.6	16.3	20.9	14.0	16.3	9.3	4.7	4.7	0.0	2.3	11.6	43
	50代	56.5	46.8	35.5	29.0	22.6	22.6	27.4	19.4	14.5	8.1	3.2	6.5	1.6	3.2	62
性別	男性	54.9	43.7	32.4	26.8	14.1	25.4	19.7	18.3	4.2	4.2	4.2	5.6	1.4	4.2	71
	女性	37.3	39.0	39.0	20.3	28.8	15.3	18.6	13.6	18.6	11.9	1.7	0.0	1.7	11.9	59

各項目を縦に見て最大値に彩色

※ n=30未満は参考値

ヘルメット着用の努力義務化で、自転車利用頻度が「減る」と回答した人は3割近く！

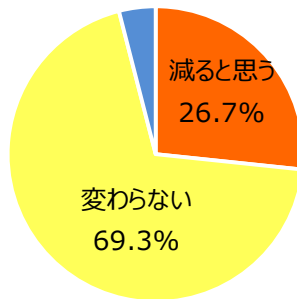
自転車利用者150名に、ヘルメット着用の努力義務化により、自転車の利用頻度が変わるかを聞いたところ、「変わらない」が69.3%で最も多く、次に「減ると思う」の26.7%、「増えると思う」の4.0%と続いた。

「減ると思う」を回答した人の属性をみると、自転車の利用が「月または年に数回」「50代」「女性」「専業主婦」の人ほど多い結果であった。

<自転車利用者150名が対象>

【図5】ヘルメット着用の努力義務化により、あなたが自転車に乗る・利用する頻度は変わりますか。（回答は1つ）

増えると思う 4.0%



(n=150)

	n	%
非常に減ると思う	14	9.3
やや減ると思う	26	17.3
変わらない	104	69.3
やや増えると思う	4	2.7
非常に増えると思う	2	1.3
合 計	150	100.0

(横%表)

<対象> 自転車利用者 (n = 150)		ヘルメット着用の努力義務化後の 自転車利用頻度			n
		減る と思う	変わらない	増える と思う	
全体		26.7	69.3	4.0	150
自転車の 利用状況	週に5日以上	23.8	71.4	4.8	42
	週に1～4日	22.0	72.9	5.1	59
	月または年に数回	34.7	63.3	2.0	49
年代	20・30代	23.3	70.0	6.7	30
	40代	24.5	69.4	6.1	49
	50代	29.6	69.0	1.4	71
性別	男性	22.1	75.6	2.3	86
	女性	32.8	60.9	6.3	64
職業	有職者	28.4	65.9	5.7	88
	パート・アルバイト	25.0	70.8	4.2	24 ※
	専業主婦	37.5	62.5	0.0	16 ※
	無職・その他	13.6	86.4	0.0	22 ※

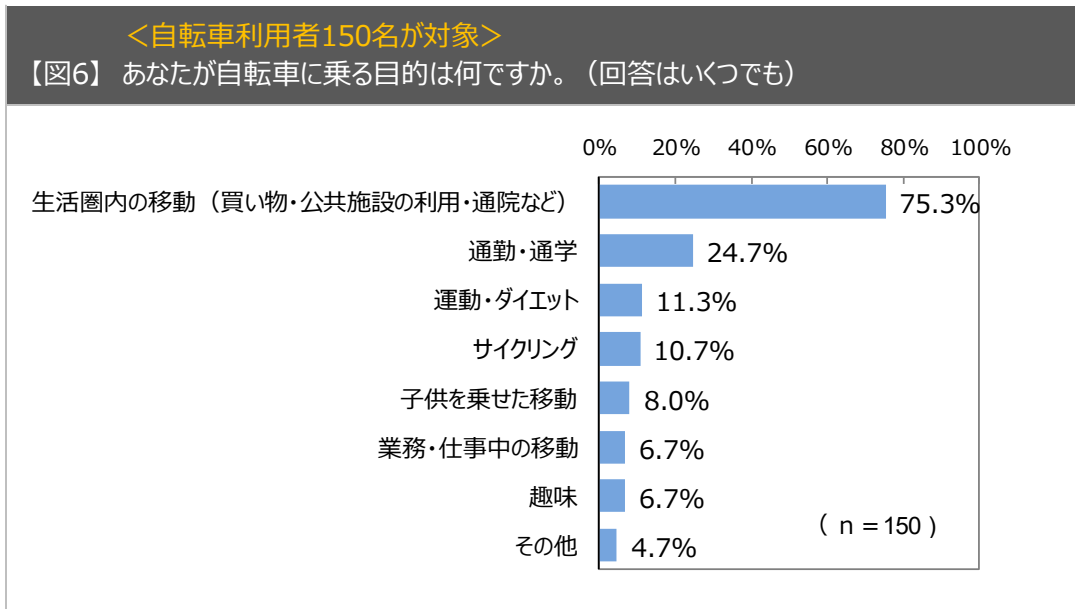
※ n=30未満は参考値

各項目を縦に見て最大値に彩色

自転車の利用目的第1位は、「生活圏内の移動（買い物・公共施設の利用など）」の75.3%！

自転車利用者150名に、自転車に乗る目的を複数回答で聞いたところ、「生活圏内の移動（買い物・公共施設の利用・通院など）」が75.3%で最も多く、次に「通勤・通学」の24.7%、「運動・ダイエット」の11.3%の順で続いた。

「生活圏内の移動」を回答した人のヘルメット着用意向をみると、「周りを見て着用する時を決める」が最も多かった。



(横%表)

＜対象＞ 自転車利用者 (n = 150)		自転車の利用目的								n
		生活圏内の移動	通勤・通学	運動・ダイエット	サイクリング	子供を乗せた移動	業務・仕事上の移動	趣味	その他	
全体		75.3	24.7	11.3	10.7	8.0	6.7	6.7	4.7	150
4月1日以降のヘルメット	常に着用する	65.0	35.0	35.0	30.0	10.0	15.0	20.0	5.0	20 ※
	時と場合により着用する	63.2	10.5	10.5	10.5	26.3	10.5	10.5	10.5	19 ※
	周りを見て着用する時を決める	81.8	29.5	9.1	6.8	4.5	6.8	4.5	0.0	44
	着用しない	77.6	22.4	6.0	7.5	4.5	3.0	3.0	6.0	67

各項目を縦に見て最大値に彩色

※ n=30未満は参考値

(横%表)

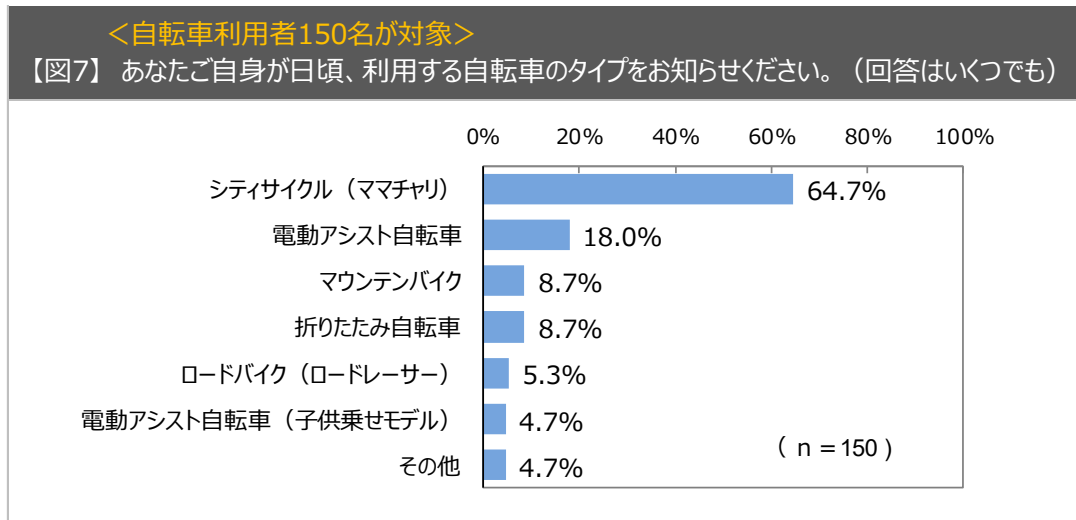
＜対象＞ 自転車利用者 (n = 150)		自転車の利用目的								n
		生活圏内の移動	通勤・通学	運動・ダイエット	サイクリング	子供を乗せた移動	業務・仕事上の移動	趣味	その他	
全体		75.3	24.7	11.3	10.7	8.0	6.7	6.7	4.7	150
自転車の利用状況	週に5日以上	64.3	66.7	14.3	19.0	11.9	11.9	9.5	0.0	42
	週に1～4日	78.0	13.6	13.6	3.4	10.2	6.8	5.1	3.4	59
	月または年に数回	81.6	2.0	6.1	12.2	2.0	2.0	6.1	10.2	49
年代	20・30代	53.3	30.0	20.0	10.0	16.7	10.0	13.3	3.3	30
	40代	75.5	28.6	8.2	8.2	8.2	4.1	2.0	8.2	49
	50代	84.5	19.7	9.9	12.7	4.2	7.0	7.0	2.8	71
性別	男性	77.9	29.1	15.1	16.3	7.0	9.3	9.3	4.7	86
	女性	71.9	18.8	6.3	3.1	9.4	3.1	3.1	4.7	64

各項目を縦に見て最大値に彩色

利用する自転車のタイプ第1位は「シティサイクル（ママチャリ）」の64.7%！

自転車利用者150名に、利用する自転車のタイプを複数回答で聞いたところ、「シティサイクル（ママチャリ）」が64.7%で最も多く、次に「電動アシスト自転車」の18.0%と続いた。

「シティサイクル（ママチャリ）」「電動アシスト自転車」を利用している人のヘルメット着用意向をみると、「周りを見て着用する時を決める」が最も多かった。



(横%表)

＜対象＞ 自転車利用者 (n = 150)		利用の自転車タイプ							n
		シティサイクル (ママチャリ)	電動アシスト 自転車	マウンテンバ イク	折りたたみ自 転車	ロードバイク (ロードレー サー)	電動アシスト 自転車 (子 供乗せモデ ル)	その他	
全体		64.7	18.0	8.7	8.7	5.3	4.7	4.7	150
4月1日 以降の ヘルメット	常に着用する	60.0	10.0	30.0	10.0	20.0	10.0	0.0	20 ※
	時と場合により着用する	57.9	10.5	5.3	21.1	10.5	15.8	10.5	19 ※
	周りを見て着用する時を決める	72.7	27.3	2.3	6.8	2.3	0.0	2.3	44
	着用しない	62.7	16.4	7.5	6.0	1.5	3.0	6.0	67

各項目を縦に見て最大値に彩色

※ n=30未満は参考値

(横%表)

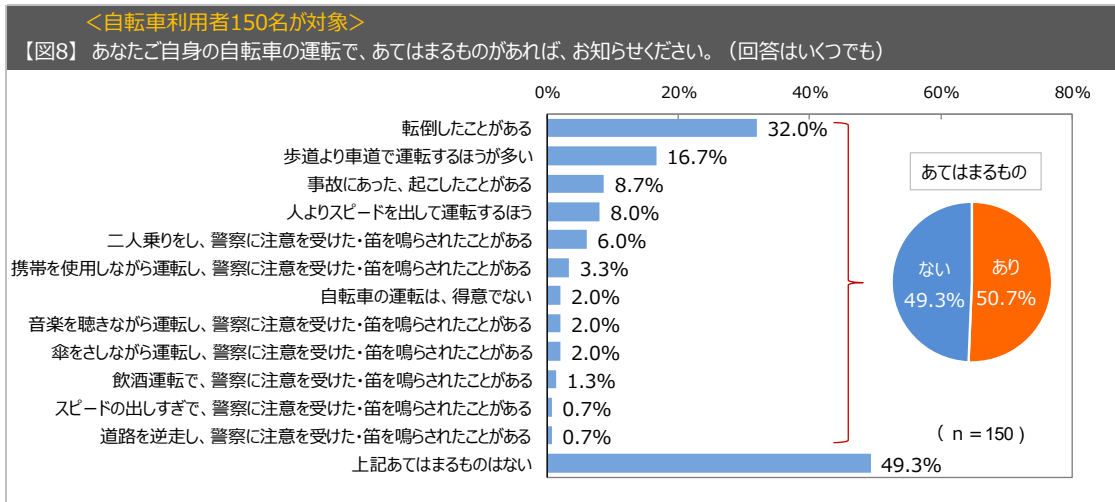
＜対象＞ 自転車利用者 (n = 150)		利用の自転車タイプ							n
		シティサイクル (ママチャリ)	電動アシスト 自転車	マウンテンバ イク	折りたたみ自 転車	ロードバイク (ロードレー サー)	電動アシスト 自転車 (子 供乗せモデ ル)	その他	
全体		64.7	18.0	8.7	8.7	5.3	4.7	4.7	150
自転車の 利用状況	週に5日以上	61.9	23.8	7.1	11.9	9.5	2.4	7.1	42
	週に1～4日	64.4	11.9	11.9	10.2	5.1	10.2	3.4	59
	月または年に数回	67.3	20.4	6.1	4.1	2.0	0.0	4.1	49
	月または年に数回	67.3	20.4	6.1	4.1	2.0	0.0	4.1	49
年代	20・30代	53.3	13.3	6.7	16.7	10.0	3.3	6.7	30
	40代	69.4	16.3	6.1	6.1	4.1	4.1	4.1	49
	50代	66.2	21.1	11.3	7.0	4.2	5.6	4.2	71
性別	男性	61.6	20.9	15.1	8.1	8.1	5.8	3.5	86
	女性	68.8	14.1	0.0	9.4	1.6	3.1	6.3	64

各項目を縦に見て最大値に彩色

自転車の運転で転倒したことがある人は、「常にヘルメットを着用する」の回答が最多！

自転車利用者150名に、自転車の運転であてはまるものを複数回答で聞いたところ、「あてはまるものはない」を除くと、「転倒したことがある」が32.0%で最も多く、次に「歩道より車道で運転するほうが多い」の16.7%、「事故にあった、起こしたことがある」の8.7%と続いた。次に、「あてはまるもの」有無別に分類してみると、「あり」の回答が5割だったことから、2人に1人が危険を伴う運転をしていることが明らかとなった。

「転倒したことがある」を回答した人のヘルメット着用意向をみると、「常に着用する」が最も多かった。転倒を経験し、ヘルメットの重要性を感じたからだろうか。



(横%表)

<対象> 自転車利用者 (n = 150)		自転車の運転であてはまるもの ▼ 「警察に注意を受けた」は選択肢をまとめた							n
		転倒したことがある	歩道より車道で 運転するほうが 多い	警察に注意 を受けた・笛を鳴 らされたことがあ る	事故にあった、 起こしたことがあ る	人よりスピードを 出して運転する ほう	自転車の運転 は、得意でない	上記あてはまる ものはない	
全体		32.0	16.7	12.7	8.7	8.0	2.0	49.3	150
4月1日 以降の ヘルメット	常に着用する	45.0	30.0	35.0	5.0	20.0	5.0	25.0	20 ※
	時と場合により着用する	15.8	21.1	0.0	10.5	15.8	0.0	57.9	19 ※
	周りを見て着用する時を決める	34.1	18.2	15.9	11.4	6.8	4.5	40.9	44
	着用しない	31.3	10.4	7.5	7.5	3.0	0.0	59.7	67
各項目を縦に見て最大値に彩色 ※ n=30未満は参考値									

(横%表)

＜対象＞ 自転車利用者 (n=150)		自転車の運転であてはまるもの ▼ 「警察に注意を受けた」は選択肢をまとめた							n
		転倒したことがある	歩道より車道で 運転するほうが 多い	警察に注意 を受けた・笛を鳴 らされたことがあ る	事故にあった、 起こしたことがあ る	人よりスピードを 出して運転する ほう	自転車の運転 は、得意でない	上記あてはまる ものはない	
全体		32.0	16.7	12.7	8.7	8.0	2.0	49.3	150
自転車の利用 状況	週に5日以上	33.3	26.2	14.3	16.7	14.3	0.0	47.6	42
	週に1～4日	30.5	16.9	16.9	8.5	6.8	3.4	45.8	59
	月または年に数回	32.7	8.2	6.1	2.0	4.1	2.0	55.1	49
年代	20・30代	36.7	23.3	13.3	10.0	20.0	0.0	40.0	30
	40代	34.7	12.2	8.2	10.2	4.1	2.0	57.1	49
	50代	28.2	16.9	15.5	7.0	5.6	2.8	47.9	71
性別	男性	31.4	22.1	18.6	14.0	9.3	2.3	44.2	86
	女性	32.8	9.4	4.7	1.6	6.3	1.6	56.3	64

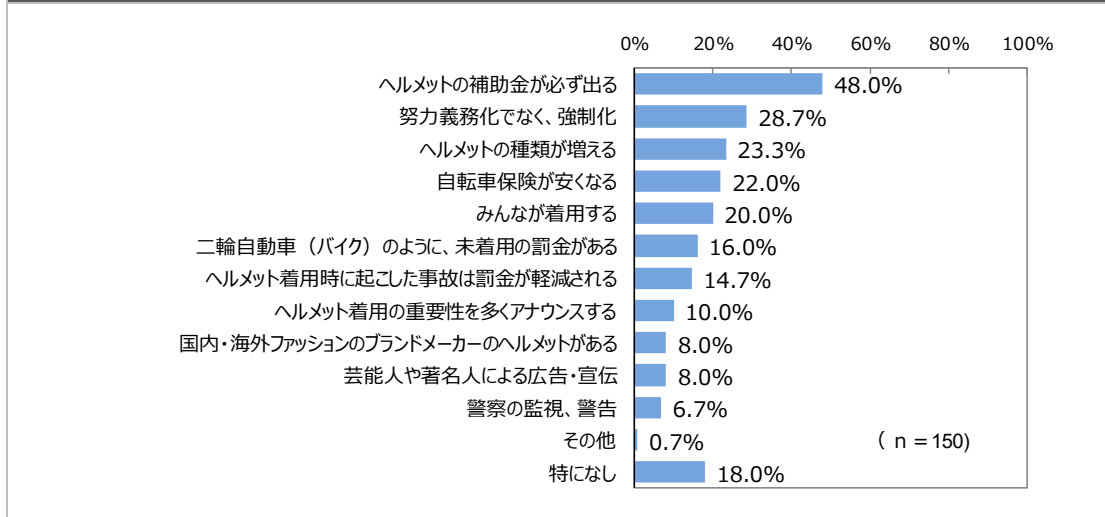
各項目を縦に見て最大値に彩色

ヘルメット着用率があがるには？ 第1位「ヘルメットの補助金が必ず出る」 第2位「強制化」

自転車利用者150名に、世論のヘルメット着用率があがるためには、どうすれば良いと思うかを複数回答で聞いたところ、「ヘルメットの補助金が必ず出る」が48.0%で最も多く、次に「努力義務化でなく、強制化」の28.7%、「ヘルメットの種類が増える」の23.3%と続いた。

＜自転車利用者150名が対象＞

【図9】 世論のヘルメット着用率があがるためには、どうすれば良いと思いますか（回答はいくつでも）



(横%表)

＜対象＞ 自転車利用者 (n = 150)		世論のヘルメット着用率があがるためには？												n	
		ヘルメットの補助金が必ず出る	努力義務化でなく、強制化	ヘルメットの種類が増える	自転車保険が安くなる	みんなが着用する	二輪自動車（バイク）のように、未着用の罰金がある	ヘルメット着用時に起こした事故は罰金が軽減される	ヘルメット着用の重要性を多くアナウンスする	国内・海外ファッションのブランドメーカーのヘルメットがある	芸能人や著名人による広告・宣伝	警察の監視、警告	その他		特になし
	全体	48.0	28.7	23.3	22.0	20.0	16.0	14.7	10.0	8.0	8.0	6.7	0.7	18.0	150
4月1日以降のヘルメット	常に着用する	50.0	40.0	40.0	25.0	35.0	15.0	20.0	15.0	25.0	30.0	5.0	0.0	0.0	20※
	時と場合により着用する	36.8	31.6	10.5	26.3	15.8	15.8	26.3	26.3	10.5	5.3	15.8	0.0	15.8	19※
	周りを見て着用する時を決める	52.3	20.5	22.7	27.3	27.3	15.9	9.1	11.4	6.8	9.1	6.8	0.0	11.4	44
	着用しない	47.8	29.9	22.4	16.4	11.9	16.4	13.4	3.0	3.0	1.5	4.5	1.5	28.4	67
各項目を縦に見て最大値に彩色 ※ n=30未満は参考値															

(横%表)

＜対象＞ 自転車利用者 (n = 150)		世論のヘルメット着用率があがるためには？													n
		ヘルメットの補助金が必ず出る	努力義務化でなく、強制化	ヘルメットの種類が増える	自転車保険が安くなる	みんなが着用する	二輪自動車（バイク）のよう に、未着用の罰金がある	ヘルメット着用時に起こした事故は罰金が軽減される	ヘルメット着用の重要性を多くアナウンスする	国内・海外ファッションのブランドメーカーのヘルメットがある	芸能人や著名人による広告・宣伝	警察の監視、警告	その他	特になし	
自転車の利用状況	全体	48.0	28.7	23.3	22.0	20.0	16.0	14.7	10.0	8.0	8.0	6.7	0.7	18.0	150
	週に5日以上	50.0	28.6	23.8	21.4	16.7	19.0	14.3	7.1	4.8	4.8	2.4	0.0	14.3	42
	週に1～4日	45.8	23.7	27.1	22.0	20.3	13.6	15.3	10.2	10.2	11.9	5.1	1.7	18.6	59
	月または年に数回	49.0	34.7	18.4	22.4	22.4	16.3	14.3	12.2	8.2	6.1	12.2	0.0	20.4	49
年代	20・30代	50.0	16.7	23.3	16.7	13.3	16.7	13.3	16.7	13.3	16.7	3.3	0.0	20.0	30
	40代	42.9	20.4	28.6	18.4	20.4	10.2	18.4	8.2	6.1	8.2	4.1	2.0	20.4	49
	50代	50.7	39.4	19.7	26.8	22.5	19.7	12.7	8.5	7.0	4.2	9.9	0.0	15.5	71
性別	男性	57.0	38.4	22.1	25.6	19.8	22.1	20.9	10.5	7.0	8.1	10.5	1.2	12.8	86
	女性	35.9	15.6	25.0	17.2	20.3	7.8	6.3	9.4	9.4	7.8	1.6	0.0	25.0	64

各項目を縦に見て最大値に彩色

今月のレベルアップ 母比率の差の検定（z検定）

検定とは、集団の一部分（標本）にアンケート調査や実験を行った結果が、集団全体（母集団）にもいえるかどうか（関連性があるといえるか）を調べる方法です。

2つの母集団の比率に差があるかを調べたい時は、**母比率の差の検定**を適用します。

<解釈> ※ 判定マークがある項目は、母集団の比率に違いがあるといえる。（有意な差がある）

p値・・・ p値 < 0.01 [**] 0.01 ≤ p値 < 0.05 [*] p値 ≥ 0.05 []

▼ 「着用しない人」の方が多く、差が最大の項目、 「着用意向あり」の方が多く、差が最大の項目

▼ 2つの母集団（ヘルメットを「着用しない」「着用意向あり」）の比率に差があるといえる項目は、
自転車の運転で「あてはまるものがない」「人よりスピードを出して運転するほう」

（横％表）

		自転車の利用状況			n
		月に数回・年に数回	週に1～4日	週に5日以上	
全体		32.7	39.3	28.0	150
4月以降の着用しない		37.3	38.8	23.9	67
ヘルメット着用意向あり		28.9	39.8	31.3	83
（着用しない-着用意向あり）の差		8.4	-1.0	-7.4	
母比率の差の検定（Z検定）		0.276	0.905	0.313	
判定		[]	[]	[]	

（横％表）

		ヘルメット着用の努力義務化			n
		困る	困らない	どちらでもない	
全体		58.7	15.3	26.0	150
4月以降の着用しない		67.2	11.9	20.9	67
ヘルメット着用意向あり		51.8	18.1	30.1	83
（着用しない-着用意向あり）の差		15.4	-6.1	-9.2	
母比率の差の検定（Z検定）		0.058	0.300	0.200	
判定		[]	[]	[]	

（横％表）

		自転車の利用目的								n
		生活圏内の移動	その他	通勤・通学	サイクリング	子供を乗せた移動	業務・仕事中の移動	趣味	運動・ダイエット	
全体		75.3	4.7	24.7	10.7	8.0	6.7	6.7	11.3	150
4月以降の着用しない		77.6	6.0	22.4	7.5	4.5	3.0	3.0	6.0	67
ヘルメット着用意向あり		73.5	3.6	26.5	13.3	10.8	9.6	9.6	15.7	83
（着用しない-着用意向あり）の差		4.1	2.4	-4.1	-5.8	-6.4	-6.7	-6.7	-9.7	
母比率の差の検定（Z検定）		0.561	0.496	0.561	0.253	0.153	0.104	0.104	0.063	
判定		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

（横％表）

		日頃、利用する自転車タイプ							n
		その他	マウンテンバイク	電動アシスト自転車	電動アシスト自転車（子供乗せモデル）	シティサイクル（ママチャリ）	折りたたみ自転車	ロードバイク（ロードレーサー）	
全体		4.7	8.7	18.0	4.7	64.7	8.7	5.3	150
4月以降の着用しない		6.0	7.5	16.4	3.0	62.7	6.0	1.5	67
ヘルメット着用意向あり		3.6	9.6	19.3	6.0	66.3	10.8	8.4	83
（着用しない-着用意向あり）の差		2.4	-2.2	-2.9	-3.0	-3.6	-4.9	-6.9	
母比率の差の検定（Z検定）		0.496	0.638	0.650	0.380	0.649	0.292	0.060	
判定		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

（横％表）

		自転車の運転であてはまるもの							n
		上記あてはまるものはない	転倒したことがある	事故にあった、起こしたことがある	自転車の運転は、得意でない	人よりスピードを出して運転するほう	警察に注意を受けた・笛を鳴らされたことがある	歩道より車道で運転するほうが多い	
全体		49.3	32.0	8.7	2.0	8.0	12.7	16.7	150
4月以降の着用しない		59.7	31.3	7.5	0.0	3.0	7.5	10.4	67
ヘルメット着用意向あり		41.0	32.5	9.6	3.6	12.0	16.9	21.7	83
（着用しない-着用意向あり）の差		18.7	-1.2	-2.2	-3.6	-9.1	-9.4	-11.2	
母比率の差の検定（Z検定）		0.022	0.877	0.638	0.116	0.042	0.085	0.066	
判定		[*]	[]	[]	[]	[*]	[]	[]	

サマリーレポートはこちらを参照ください。

こちらを参照ください。

<https://istat.co.jp/investigation/2023/3/result>

統計分析研究所 株式会社アイスタットについて

【株式会社アイスタット（統計分析研究所）会社概要】

◇所在地 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-22-26 パラドール東高円寺3F（旧YTビル）

◇設立 2011年6月2日

◇代表者 代表取締役社長 志賀 保夫 / 代表取締役会長 菅 民郎

◇事業内容 株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。

◆本調査・弊社事業などに関するお問合せ先◆

統計分析研究所 株式会社アイスタット <https://istat.co.jp/>

総務部 橋本 有子 (somu@istat.jp) TEL: 03-3315-7637/FAX: 03-3315-7660

サービスのご案内

株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。「わかりやすい統計学」をモットーに、8つのコア・サービスをみなさまにご提供いたします。

